

2012年度 環境活動レポート ユーレックス株式会社

eureks

対象期間 2012年4月1日～2013年3月31日



発行 2013年5月10日



国内唯一のオイルヒーター製造メーカー 皆様に愛されて25年

私どもユーレックス株式会社は、国内唯一のオイルヒーター専門メーカーとして、かけがえのない自然環境を持った信州・八ヶ岳のふもとの地で1989年に創業いたしました。

まえがき

昨今、地球環境やエネルギー供給に対する問題意識が高まっております。このような状況の中、当社としてはオイルヒーターを中核とし、そこで培われた技術を活かした新たな商品やサービスを生み出すことにより、地元信州をはじめ日本、広くは世界全体の環境負荷を低減することを目指していきたいと考えております。

代表取締役 岡田 純二



目次

1. 環境方針
2. 環境管理体制図
3. 会社概要
4. 製品紹介
5. 環境への取組み
6. リサイクル活動への取組み
7. 環境教育及び訓練実績
8. 環境コミュニケーション
9. 代表者の見直しと評価
10. 環境法規関連の遵守状況

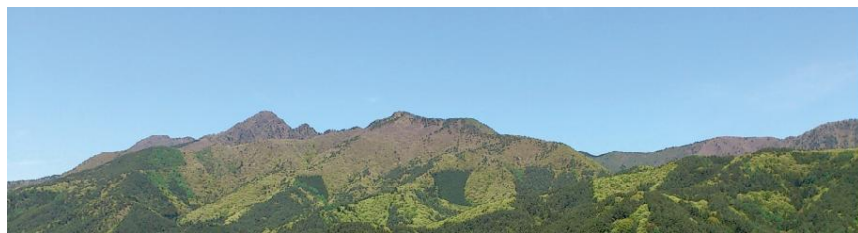


工場社屋



会社概要

会社名	ユーレックス株式会社
資本金	40,000 千円
所在地	長野県茅野市玉川上原山林間工業公園
代表者名	代表取締役 岡田 純二
環境管理責任者	工場長 武田 和文
事業内容	オイルヒーターの設計・製造及び販売 オイルヒーターのアフターサービス
従業員数	14名
売上高	409,000千円
主要製品生産量	28,000台



環境方針

～ 環境理念 ～

地元信州の自然を愛し、その恩恵に感謝する事を忘れず、「環境負荷低減」と「循環型社会の実現」を企業活動における最重要課題と位置付け、その推進を自主的かつ積極的に行います。

～ 環境方針 ～

- 1 環境保全に関連する法律・条例・協定・その他の要求事項を遵守します。
- 2 企業活動に於いて次の事項を重要課題とし、目標を設定した上で取り組みます。
 - ① 資源の有効活用とエネルギーの削減
 - ② 廃棄物の分別を徹底し削減とリサイクルを行う。
 - ③ 水の使用量削減に努める。
 - ④ 環境に配慮した製品開発・資材調達に努める。
- 3 アフターサービスに於いて、お客様の使用した製品を回収しリサイクル活動に努めます。
- 4 全従業員に環境方針を周知徹底し環境保全意識の向上に努めます。

環境管理体制図

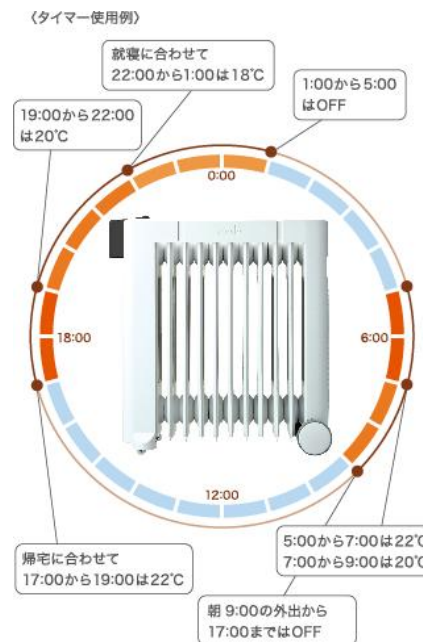


各課の役割

業務課	業務係	出荷ミスの削減、業務の効率化
	倉庫係	在庫差異の削減
技術・製造課	技術係	環境に配慮した製品の設計
	製造係	生産計画の遵守
品質管理課	品質管理係	生産用部材の不良率低下
	研磨係	効率の向上、工程内不良の削減

製品紹介

日本製のオイルヒーターはユーレックスだけ。
快適な生活環境をご提案いたします。



独自開発したタイマー
（特許取得済み）を使用
する事で、節電性能
が大きく向上しました。





環境活動への取組み

環境推進委員会により、当月の実績から、
是正すべき点を打ち合わせ。
※推進委員会は1回/月 及び適時開催

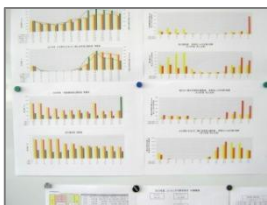


電気・灯油の削減目標。廃棄物の削減目標
節水・グリーン購入
上記5点の目標に基づき活動計画書の作成

2011年度環境目標達成状況		2011年度環境目標達成状況	
項目	目標値	実績値	達成率
1. 電気消費量削減	1000 kWh	950 kWh	95%
2. 灯油消費量削減	500 L	480 L	96%
3. 廃棄物削減	100 kg	90 kg	90%
4. 節水	1000 L	950 L	95%
5. グリーン購入	100%	100%	100%



環境掲示板にて
実績（総量）と原単位による
昨対を掲示。
日々の管理としては
チェックシートを活用



環境管理シート	
項目	内容
電気	
灯油	
廃棄物	
節水	
グリーン購入	

作業手順書等で、従業員へ
周知徹底。電灯や機器に
管理責任者を任命。
ステッカー等の掲示





環境活動への取組み

部門別実行計画の活用

各部門毎に業務改善に関する計画書を毎年作成し、本来業務の改善活動を実施しています。
この活動一つ一つが環境負荷を低減する事に繋がっています。



環境目標



環境方針	環境目標項目	基準値 (基準年度)	年度毎目標・達成手段				
			2012年度	判定	2013年度	2014年度	
二酸化炭素排出量	電力の二酸化炭素排出量削減	96,664kWh 36,539 (kg-CO2) 2011年 二酸化炭素排出係数 0.378	基準年度比	95 %	×	90 %	88 %
			目標値	34,712 (kg-CO2)		32,885 (kg-CO2)	32,154 (kg-CO2)
	達成手段	<ul style="list-style-type: none"> ・蛍光灯の使用時間についてルールの作成 ・監視システムからの情報を従業員へ配布 ・ブース毎の節電目標を設定 	<ul style="list-style-type: none"> ・蛍光灯の使用時間についてルールの作成 ・監視システムからの情報を従業員へ配布 ・業務効率向上の検討 (残業時間の圧縮) 	<ul style="list-style-type: none"> ・業務効率向上の検討 ・照明器具の変更を検討 (事務所内) 			
	基準年度比	95 %	90 %	88 %			
化石燃料の二酸化炭素排出量削減 (灯油消費量)	10,592L 26,395 (kg-CO2) 2011年 二酸化炭素排出係数 2.49193	基準年度比	95 %	○	90 %	88 %	
		目標値	25,075 (kg-CO2)		23,755 (kg-CO2)	23,227 (kg-CO2)	
	達成手段	<ul style="list-style-type: none"> ・JETヒーターの使用時間をルール化 ・事務所内の設定温度とルールを作成 ・各ブース内ヒーターの設定温度を作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・JETヒーターの使用時間をルール化 ・事務所内の設定温度とルールを作成 ・各ブース内ヒーターの設定温度を作成 ・業務効率向上の検討 (残業時間の圧縮) 		<ul style="list-style-type: none"> ・業務効率の向上の検討 ・より効率のよい暖房機への変更を検討 		
	基準年度比	95 %	90 %		88 %		
廃棄物の削減	一般廃棄物の削減	1,726 kg 2011年	基準年度比	95 %	○	90 %	88 %
			目標値	1640 kg		1,553 kg	1,519 kg
	達成手段	<ul style="list-style-type: none"> ・資源ゴミと可燃ゴミの分別を徹底 ・ダンボールの資源化を徹底 ・アフターサービスに関する緩衝材の再利用 ・可燃ゴミ排出時の計量 	<ul style="list-style-type: none"> ・資源ゴミと可燃ゴミの分別を徹底。 ・可燃ゴミ排出時の計量 ・裏紙利用の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・資源ゴミと可燃ゴミの分別を徹底。 ・可燃ゴミ排出時の計量 ・裏紙利用の推進 			
	基準年度比	95 %	93 %	90 %			
節水	節水	326 m ³ 2011年	基準年度比	95 %	○	93 %	90 %
			目標値	310 m ³		303 m ³	293 m ³
	達成手段	<ul style="list-style-type: none"> ・各水道への掲示物貼付 ・トイレへの掲示物貼付 	<ul style="list-style-type: none"> ・各水道への掲示物貼付 ・トイレへの掲示物貼付 	<ul style="list-style-type: none"> ・各水道への掲示物貼付 ・トイレへの掲示物貼付 			
	基準年度比	95 %	93 %	90 %			
グリーン購入	事務用品のグリーン購入	比率 30 % 2011年 比率=エコ商品/全購入額	基準年度比	110 %	○	120 %	130 %
			目標値	33 %		36 %	39 %
	達成手段	<ul style="list-style-type: none"> ・エコマーク登録商品のリスト化 ・新規購入分に関して移行を検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・新規購入する事務用品について移行を検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・新規購入する事務用品について移行を検討 			
	基準年度比	110 %	120 %	130 %			
製品への環境配慮	製品への環境配慮		達成手段	<ul style="list-style-type: none"> ・新製品開発に向け、既存製品における環境負荷の大きい部品を確認し、互換部品の検討を行う 	×	<ul style="list-style-type: none"> ・新製品開発に向け、既存製品における環境負荷の大きい部品を確認し、互換部品の検討を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・新製品開発に向け、既存製品における環境負荷の大きい部品を確認し、互換部品の検討を行う
			達成手段	<ul style="list-style-type: none"> ・会社周辺の清掃 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・会社周辺の清掃 ・市主催のイベントに参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・会社周辺の清掃 ・市主催のイベントに参加



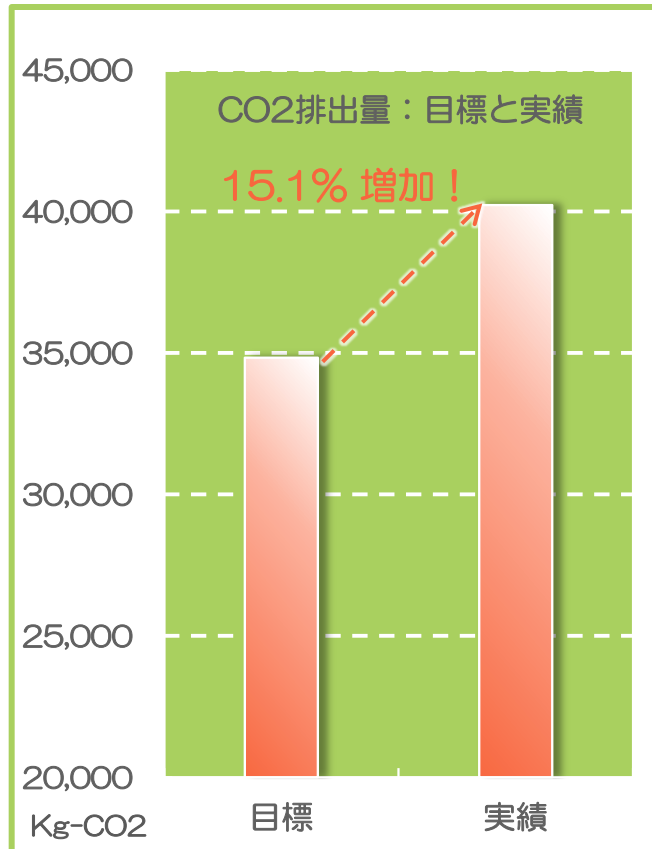
環境活動への取組み

① CO2削減（電気）

目標：昨年実績より5%削減



結果 15.1%の増加



製品不具合による特別作業のため、電気使用量の目標値を達成する事ができませんでした。

不良を発生させてしまう事が、環境負荷を大きくさせてしまう事を再認識する年となりました。

～ 来期の課題 ～

試験等に使用する電力量と通常の業務で使用する電力量を分けて管理する体制を整えて、使用量の監視を徹底し電力量の削減に取り組みます。

不良削減と業務効率向上を来期の大きな目標とします。



環境活動への取組み

② CO2削減（灯油）

目標：昨年実績より5%削減



結果 5.8%の削減



特別作業の発生により、使用量が大幅に増加する月がありましたが、作業終了後には基準年より削減する事ができました。

灯油は、暖房機のみを使用しているため、昨年と平均気温に対してどの程度削減できているかを確認する事で従業員の意識向上を促すことができました。

～ 来期の課題 ～

業務時間内の削減は難しくなる事が予想されるので、本来業務の改善に取組み、残業時間の短縮や時間を決めて作業を行う等の検討を行います。

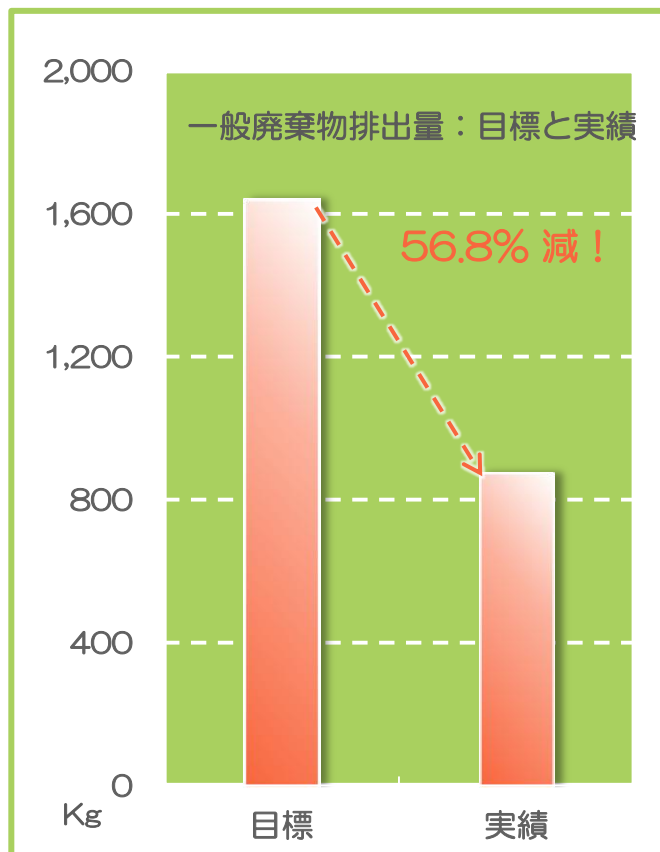


3 一般廃棄物の削減

目標：昨年実績より5%削減



結果 56.8%の削減



全体的に可燃ごみの排出については従業員の意識が高く、順調に減らすことが出来ました。しかしながら、5Sや清掃作業を行うと可燃ごみの量が増加してしまう事もあり、日頃の管理を徹底する事が反省点として挙げられました。

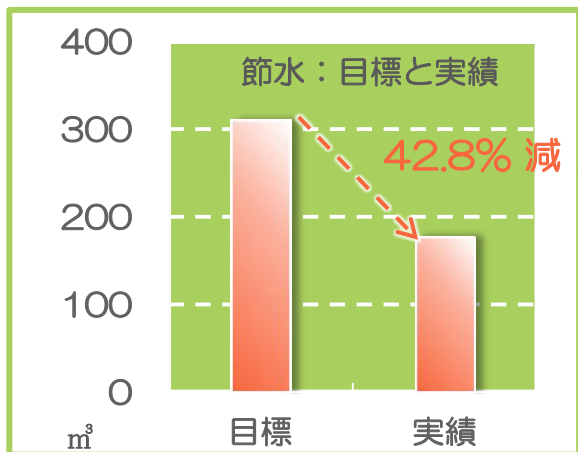
～ 来期の課題 ～

一般廃棄物については、推進担当の積極的な活動もあり、目標から大きく下げることができました。
今後は、5S活動を中心とした、職場環境の向上をベースに一般廃棄物の削減を進めていきます。

環境活動への取組み

4 節水

目標：昨年実績より5%削減



結果 42.8%の削減 ◎

夏場の雨水タンク設置による雨水の再利用を行い、グリーンカーテン用の植物等へ使用した他、毎月節水を呼びかけることで大きく削減することが出来ました。

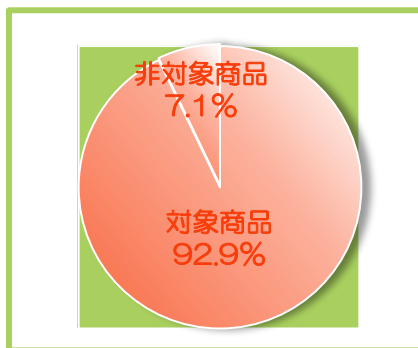
冬場に凍結防止帯の電源が切れており、水道管が凍結してしまいましたが、実施している水漏れ確認により早期に発見できたため、大事には至りませんでした。

来期の課題：

冬場の凍結防止帯の動作確認や、更なる節水の為に節水コマの導入等を検討、また毎月の使用量の確認や朝礼での注意喚起等を継続して行なって行く。

5 グリーン購入

目標：事務用品において購入商品の33%を適用商品とする



結果 92.9%の購入 ◎

新規購入の事務用品がほとんどなかった事により、目標を達成する事ができましたが、目標値が甘かった事も要因となりました。

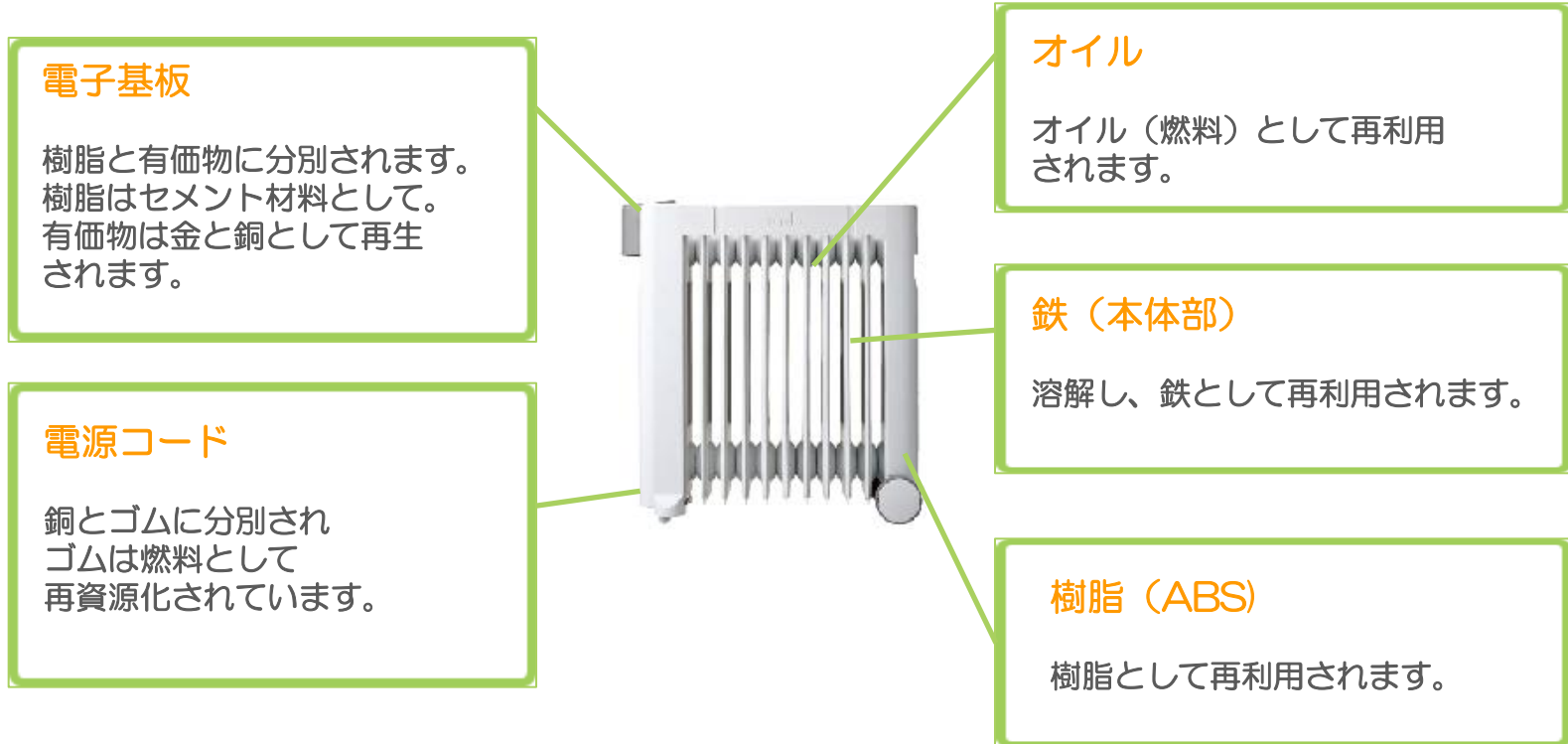
来期の課題：

発注頻度の多い従業員とそれ以外の従業員で、グリーン購入に関する意識の差が生まれやすいよう継続的な推進が必要。



リサイクル活動への取組み

長年ご使用された製品をお客様より回収させていただき、弊社にて分別を行いリサイクル活動を行っております。分別された資源は契約会社により再資源化され、様々な利用目的のために使用されています。



2012年度はお客様より490台の製品を回収させて頂きました。



EA21 勉強会



EA21の理解を深める為、勉強会を実施

会社周辺の清掃活動



会社周辺の落ち葉等を掃除

緊急時の対応訓練



灯油の流出に対する訓練と消化活動の訓練を行いました。

環境コミュニケーション



公園内清掃活動



企業組合の清掃活動（年2回）に参加

駐車場周辺の緑化



今年は駐車場の脇に花壇を
新設。

桜も綺麗に咲きました。

雨水タンクの設置



雨水タンクを新たに設置。

貯まった雨水はグリーンカーテン用の朝顔や、
花壇等へ使用しました。

グリーンカーテン



グリーンカーテンに挑戦。

秋には朝顔の種も収穫しました。



2012 AQUA SOCIAL FES 河口湖園内清掃活動



河口湖の清掃イベントに参加

2012 AQUA SOCIAL FES 諏訪湖清掃活動



諏訪湖のヒシ取りイベントに参加



代表者の見直しと評価

—昨年開始した環境活動ですが、今期初めて事業年度を通じて行うことができました。

継続して活動を行うことができたのは、環境に対する意識が管理責任者をはじめ従業員全体に根付いてきた成果であると考えています。環境活動の成果についても、表示や分析方法を工夫することにより、より適切に把握できるようになり、活動成果を実感することにより、更なる取り組みを行う良い「循環」ができつつあります。この流れを大切に、年度を通じて得られた結果を貴重なデータとして有効に活用していくことが来期の課題です。

製品不具合という、重大な問題を引き起こしてしまったことは、企業運営の責任者として大いに反省しています。

この問題が、環境負荷の増大を招いてしまったことについても、この活動を通じて痛感することとなりました。活動当初より、「環境負荷」という観点から企業運営の改善を図ることを大きな目的としておりましたので、来期は環境活動、企業運営ともに良い結果を残すことができるよう、全社一丸となり取り組んで参ります。

代表取締役 岡田 純二



環境法規関連の遵守状況

当社の企業活動に伴い適用される環境関連法規は下記の通りです。

環境管理責任者が中心となり法規の順守状況についてチェックを行い、現在及び過去3年間で問題のない事を確認いたしました。同様に関係機関及び顧客・近隣住民からの苦情、訴訟もございませんでした。

法規の名称	該当すべき要求事項（対応すべき事項）	備考	判定
廃棄物処理法	委託基準	一廃収集業者の許可確認	○
	委託基準	産廃収集運搬・処理業者の確認及び契約	○
	保管基準		○
	マニフェスト交付		○
	産業廃棄物管理票交付等状況報告書の提出		○
消防法	危険物の適正管理		○
容器リサイクル法	包装材料使用台帳の作成		○
家電リサイクル法	社内にて使用している家電製品		○

eureks

ユーレックス株式会社

〒391-0011

長野県茅野市五川上原山林間工業公園

TEL0266-79-4491 FAX0266-70-1435

<http://www.eureks.co.jp>

